

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成 29年 4月 26日

愛 知 県 知 事 殿

届出者

住 所 愛知県新城市庭野字東植田38番地の1

氏 名 株式会社 ごん だ

代表取締役 権田 まゆみ

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0536)22-1181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、28年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 ごん だ
事 業 場 の 所 在 地	愛知県新城市庭野字東植田38番地の1
事 業 の 種 類	06:総合工事業
産業廃棄物処理計画に おける計画期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値 ※ 別紙1のとおり

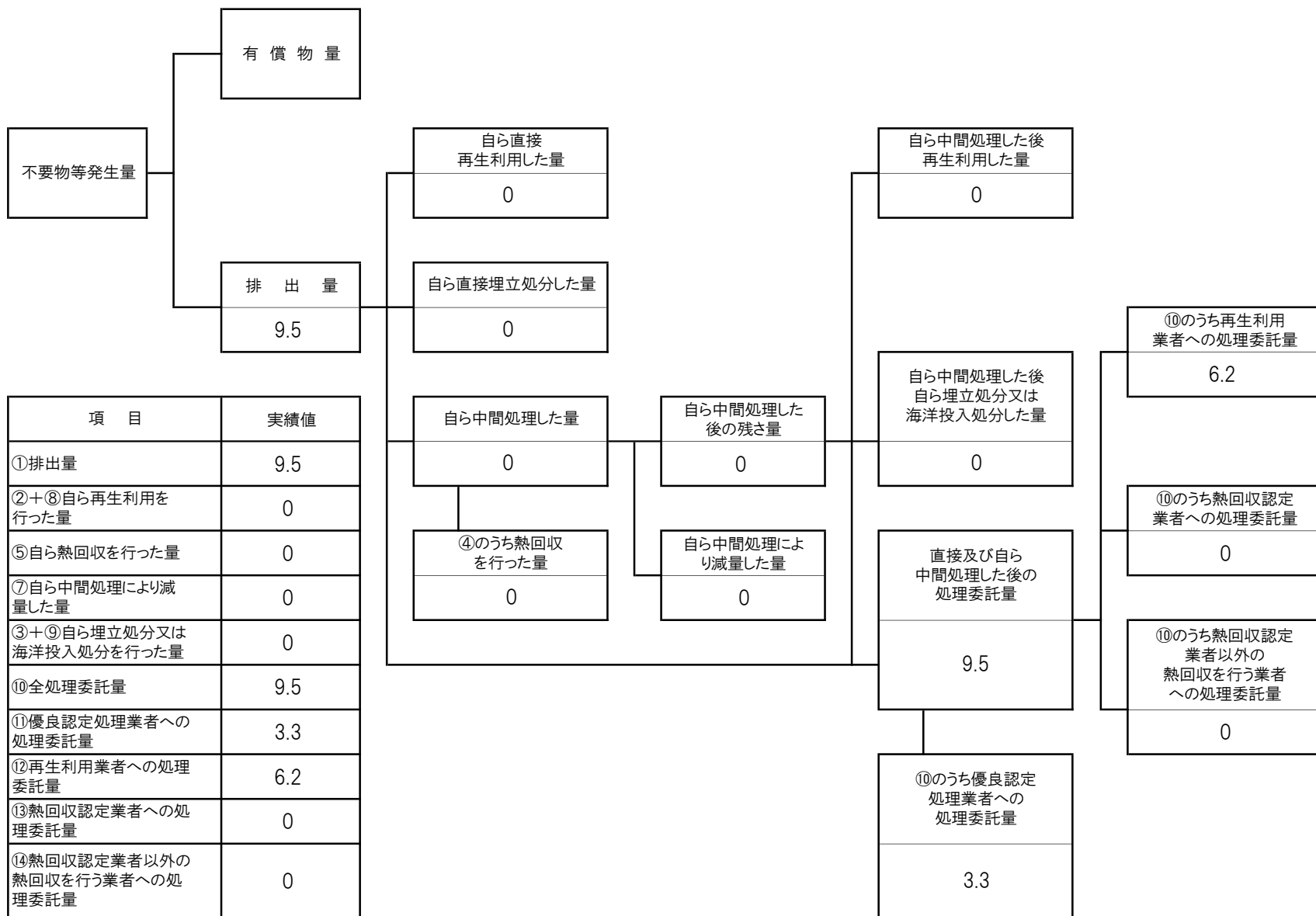
項 目	目 標 値	項 目	目 標 値
排 出 量	t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
自ら中間処理により 減 量 す る 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

項 目	目 標 値					
	建設汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類 (アスファルト塊)	がれき類 (コンクリート塊)	石綿管
排 出 量	7.6 t	11.5 t	67.2 t	8594.6 t	1106.6 t	2.6 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
全 処 理 委 託 量	7.6 t	11.5 t	67.2 t	8594.6 t	1106.6 t	2.6 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	7.6 t	11.5 t	67.2 t	8594.6 t	1106.6 t	0 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t

項 目	目 標 値					
	混合物					
排 出 量	9.7 t	t	t	t	t	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
全 処 理 委 託 量	9.7 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	9.7 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t

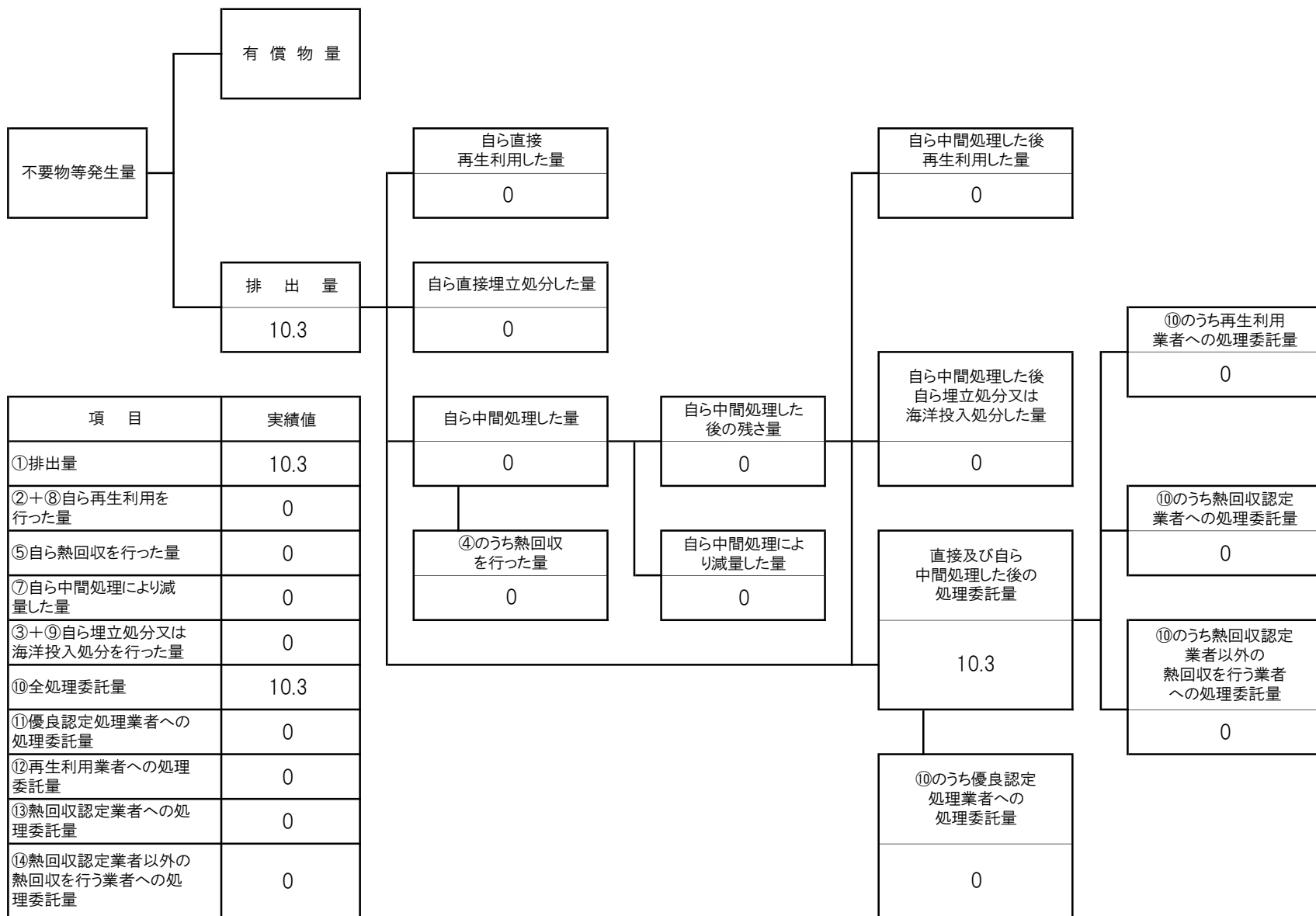
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥)



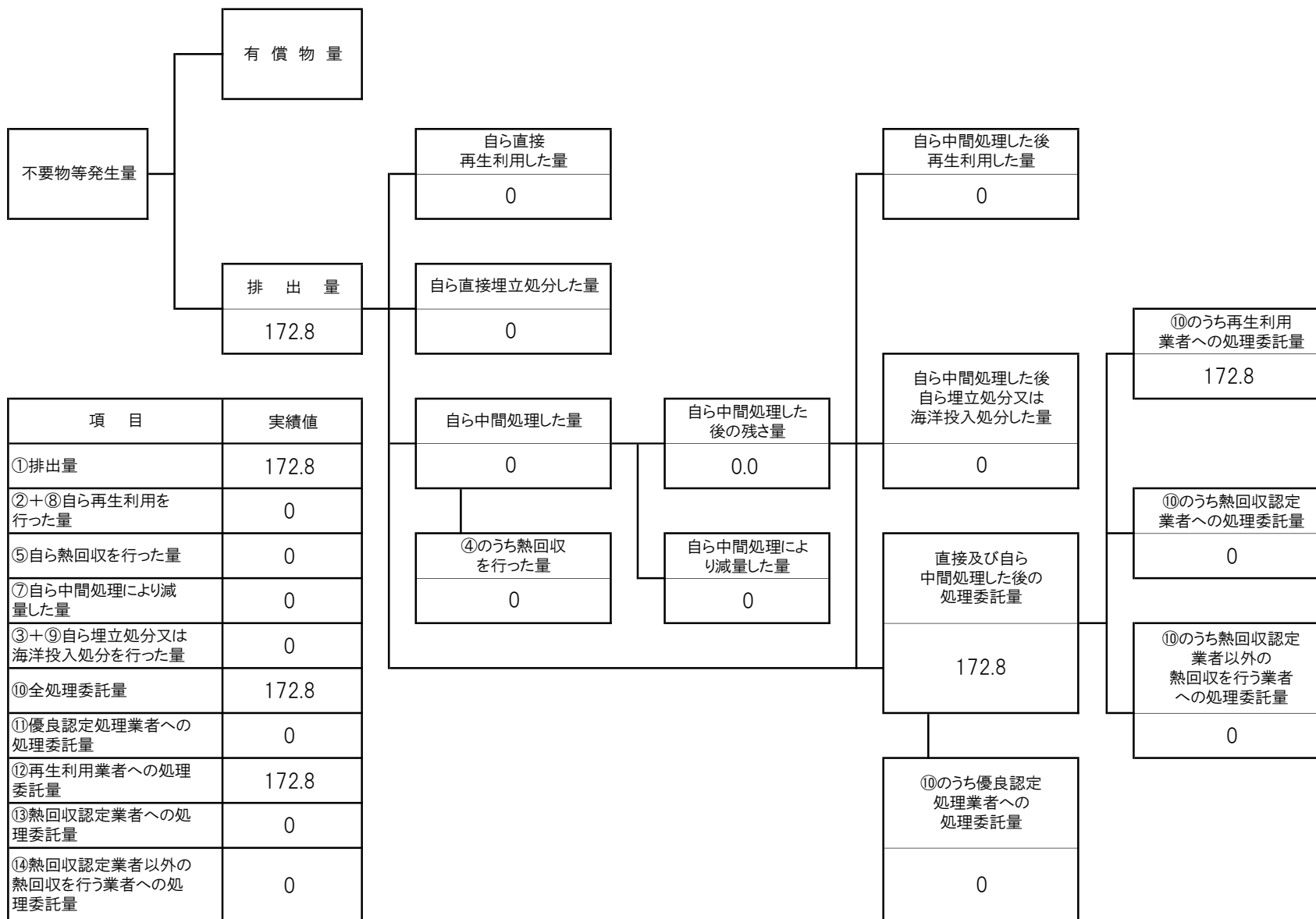
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



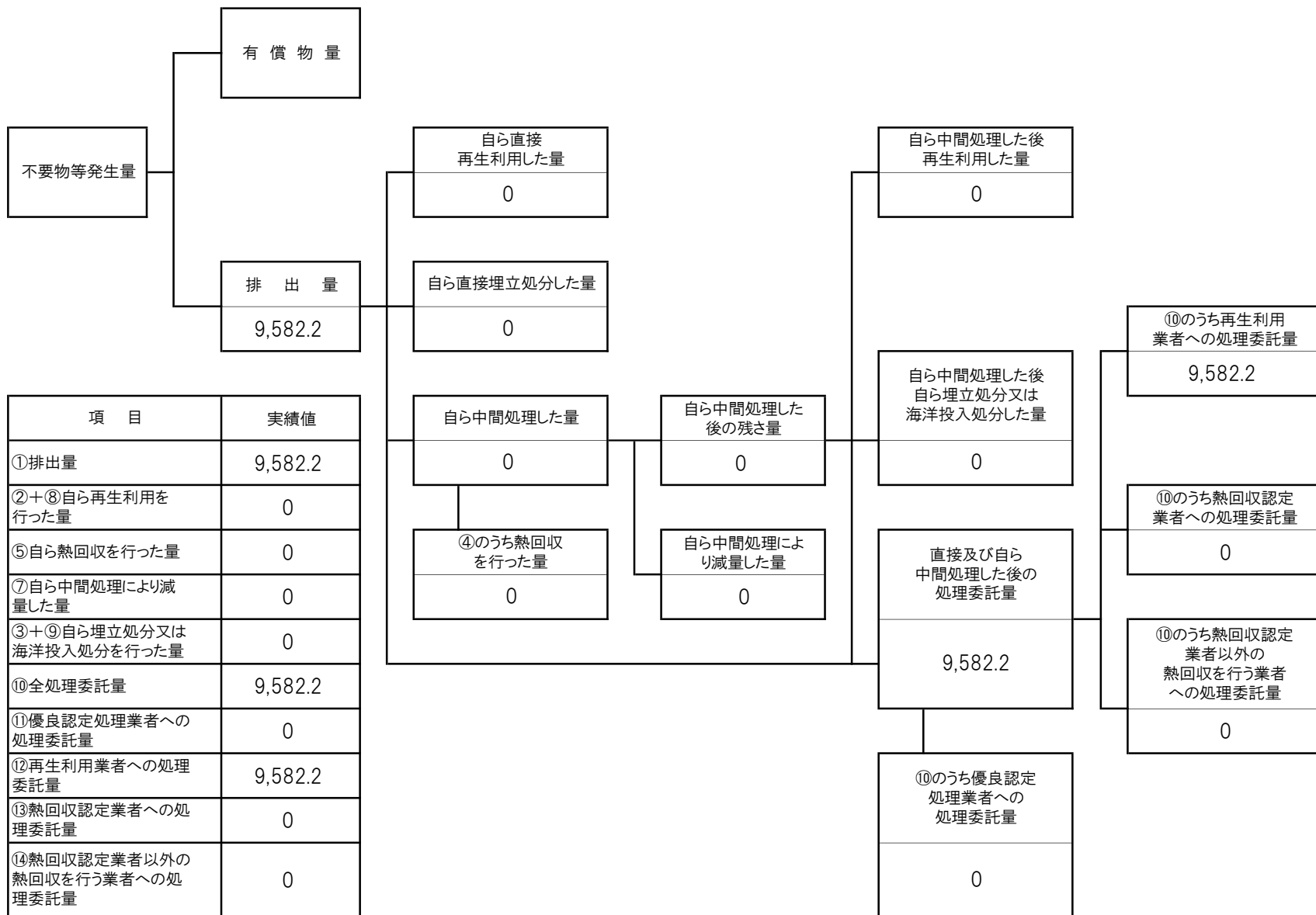
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



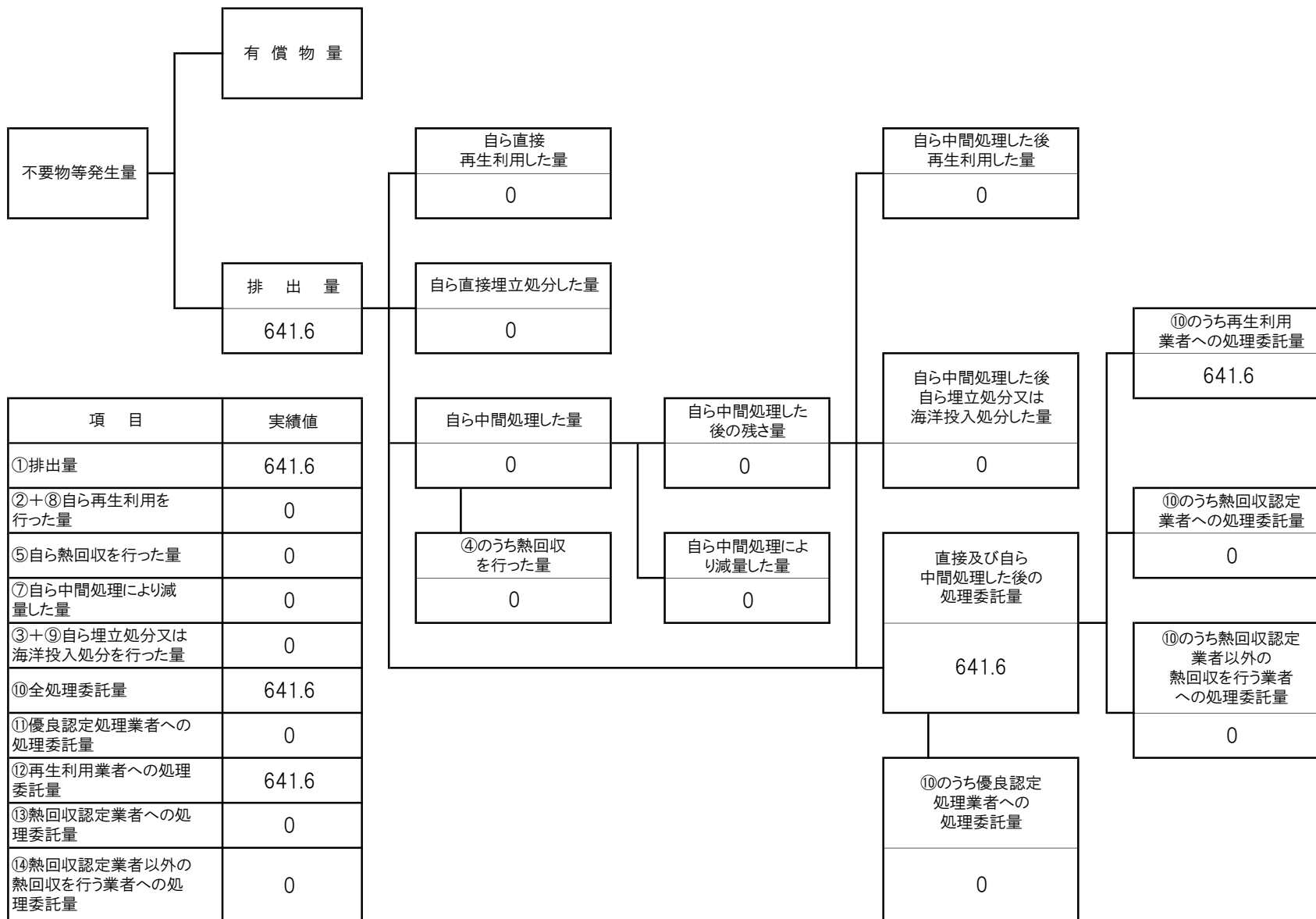
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類： がれき類〔アスファルト塊〕)



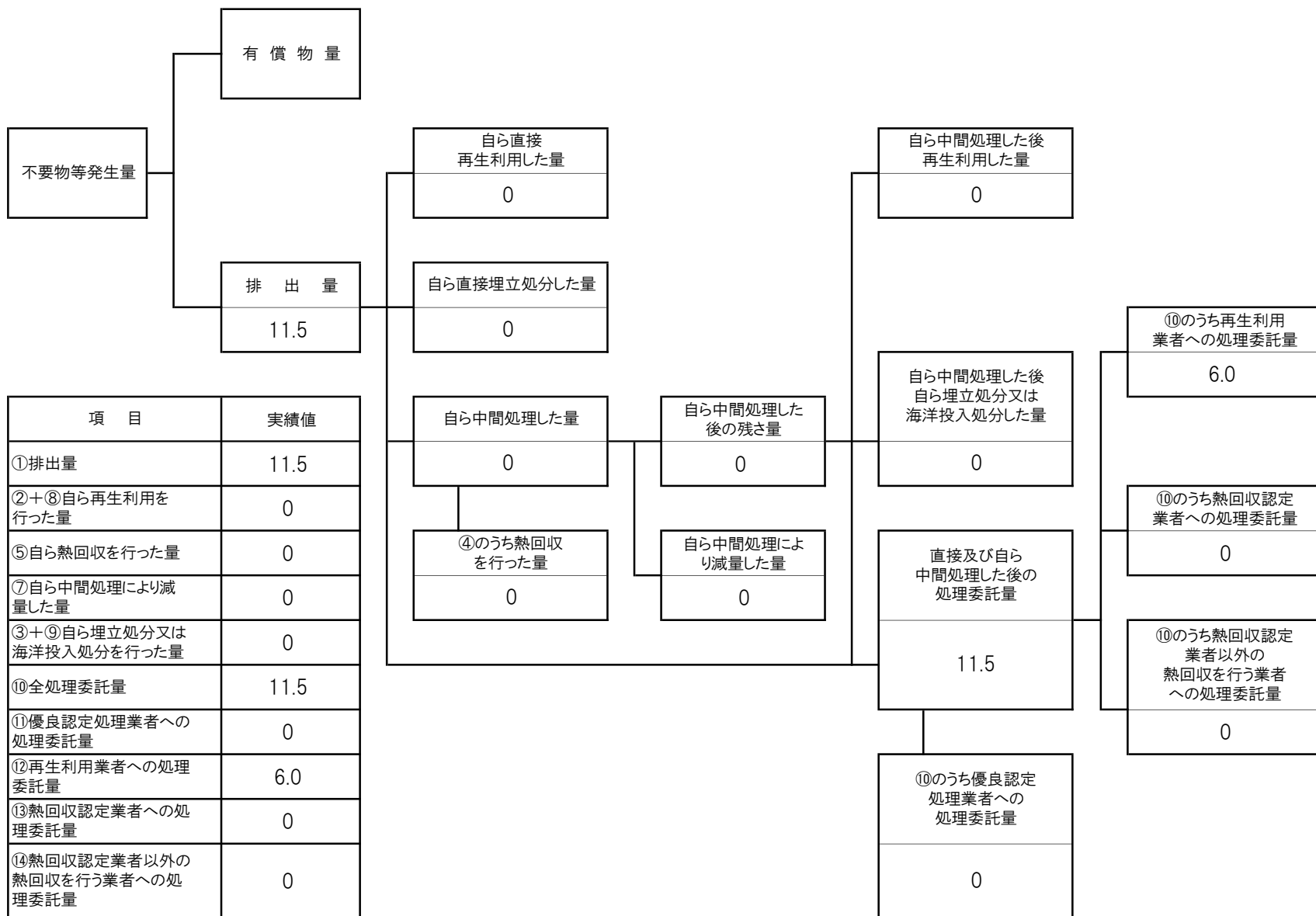
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類： がれき類〔コンクリート塊〕)



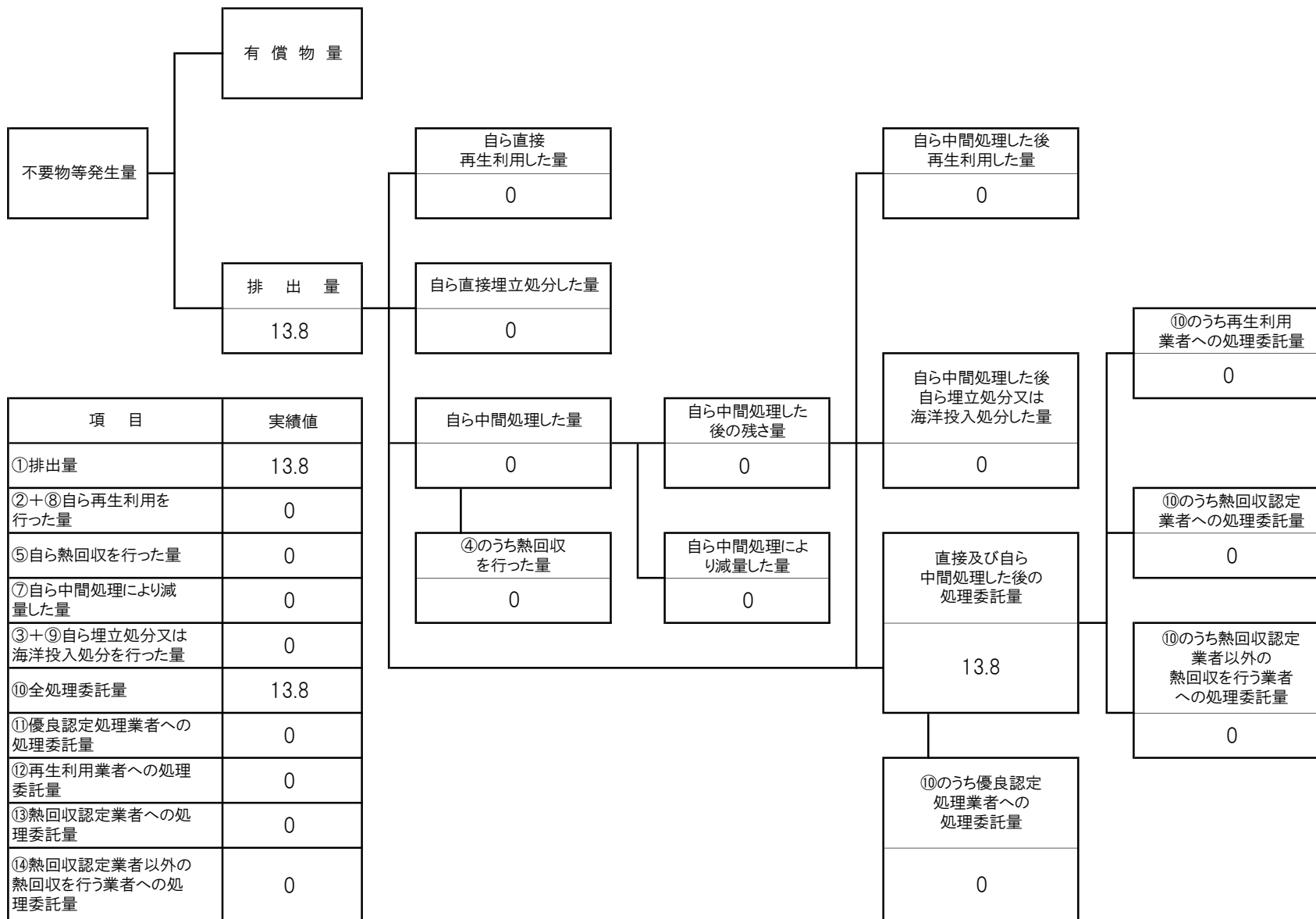
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類：混合物)



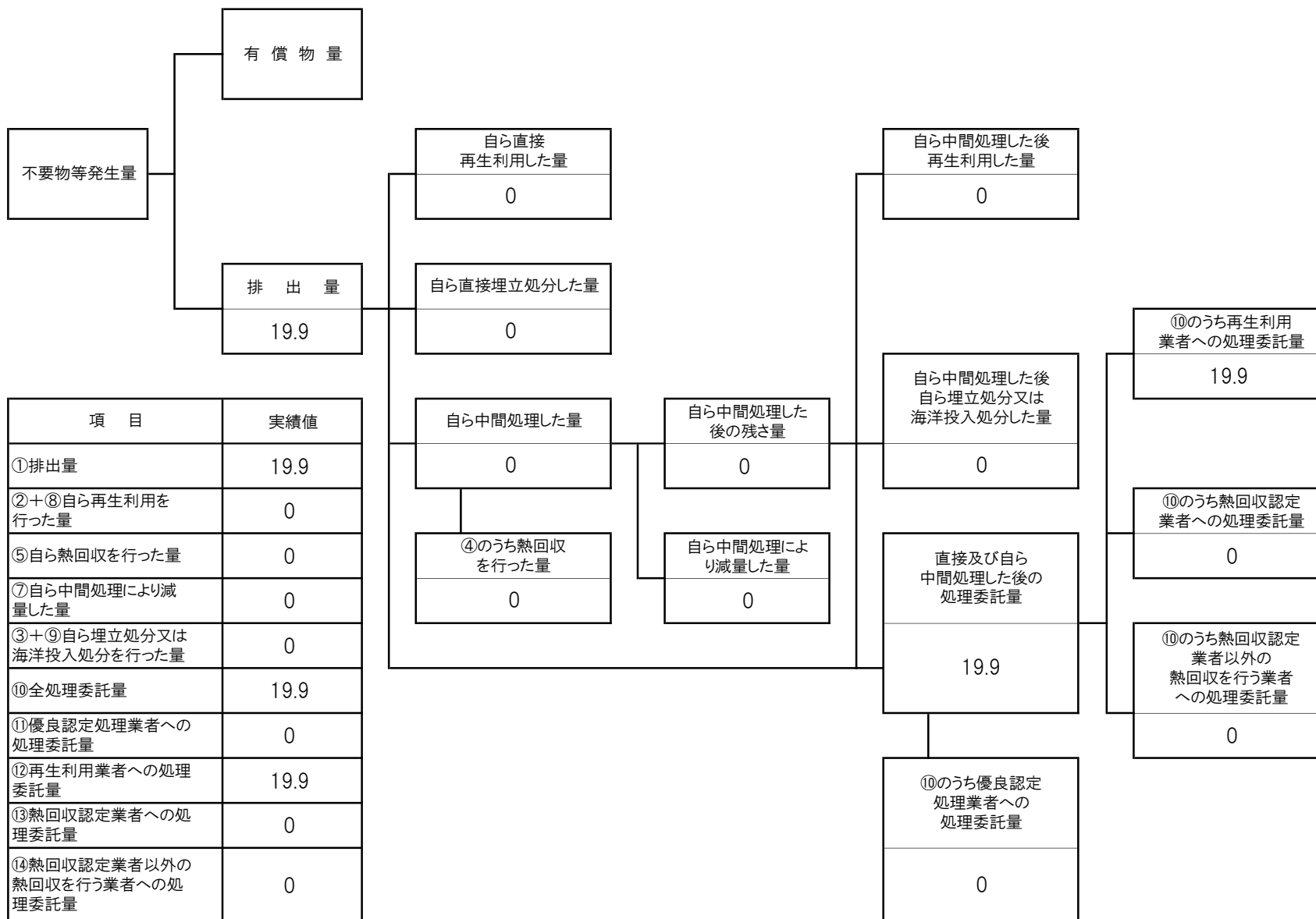
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず)



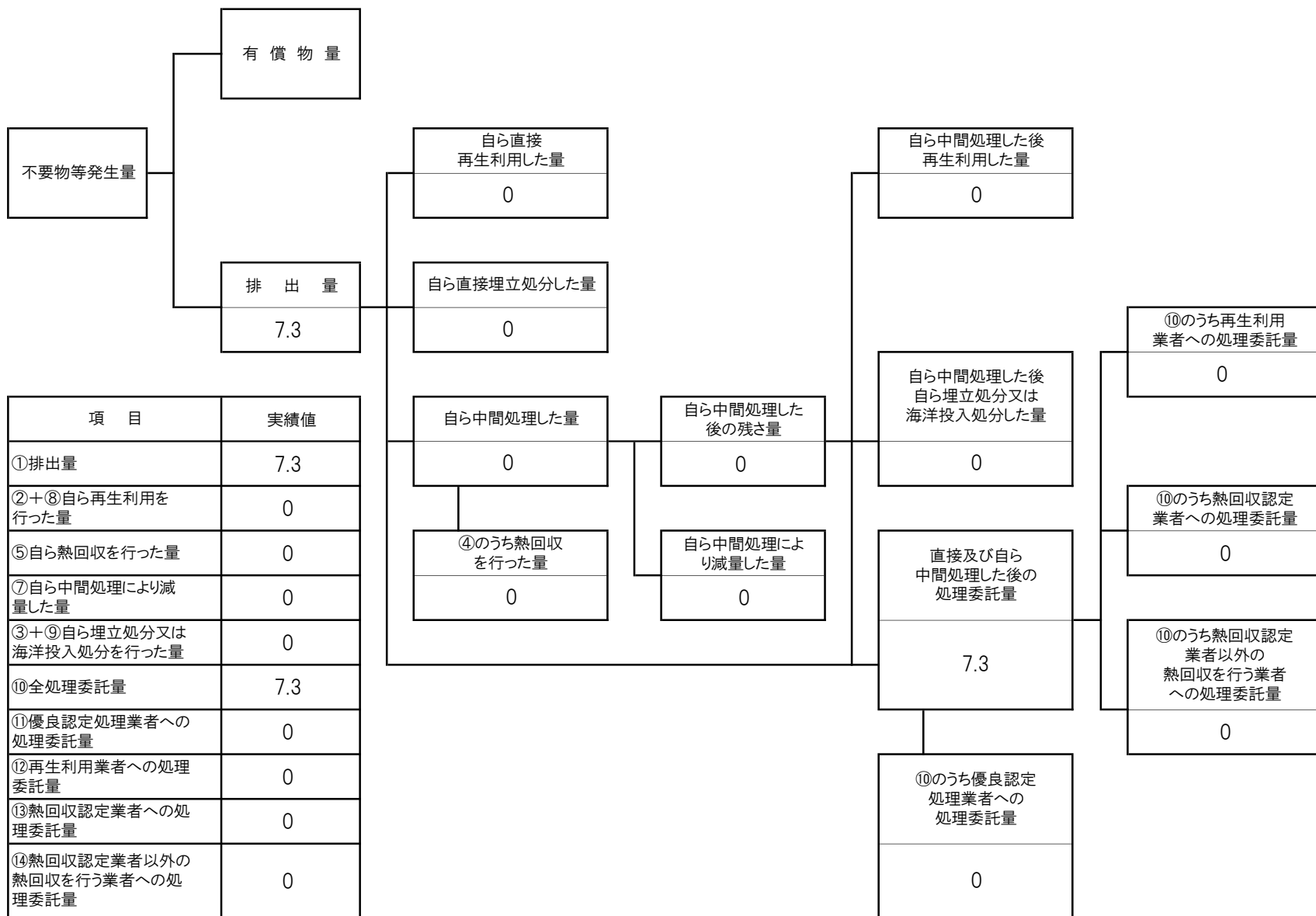
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石綿含有がれき類)



備考

1. 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
2. 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3. 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4. 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5. 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6. 産業廃棄物の種類が 2 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7. ※欄は記入しないこと。

備考

1. 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
2. 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3. 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4. 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5. 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6. 産業廃棄物の種類が 2 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7. ※欄は記入しないこと。